

## 前理事長 加藤健一様を偲んで

NPO法人ちば水土里支援パートナー 理事長 星川 正晴

去る6月28日、平成22年10月に設立したNPO法人ちば水土里支援パートナーで2期4年間にわたって、理事長に就任し、先頭に立って、当法人の円滑な運営に努めていただいた加藤健一様が急逝されました。

ここに、理事長としてご活躍されてきた足跡を振り返りながら、改めて、ご冥福をお祈りしたいと思います。

加藤様は平成14年度に県庁生活を終えられたあと、(株)道路建設コンサルタントに勤務されておりましたが、平成21年度に退社されました。

一方、NPOの立ち上げについても、加藤さんを始め賛同者による検討会を重ねておりましたが、平成22年度に至ってNPOの骨格が固まり、平成22年度のNPO法人の立ち上げにあわせて初代理事長として就任していただきました。就任後、ただちに、国営両総用水施設の更新に伴う旧施設につき、後世に伝えるべき遺産として展示をするため、国・県をはじめ、関係機関への交渉などいろいろとご苦勞を頂きました。結果として、平成26年度に両総第二機場敷地内に立派な展示施設が出来上がったところで



す。

また、平成23年3月には、未曾有の東日本大震災が発生し、千葉県においても香取管内や海匝管内の農業用施設において多大な被害が発生しましたが、即座に現地へ赴き、災害箇所の把握や災害復旧へ向けての初期対応に尽力して頂きました。

さらには、法人設立と同時に、当法人の認知度を高めるため、県庁をはじめ、県出先機関や県内10カ所の土地改良協会の総会へ出席して、当法人の支援内容などのPR活動を積極的に実施していただきました。

これらの成果として、県内土地改良区から多くの支援要請をいただくと共に、個人及び団体会員数も着実に増えるなど、NPOとして確固たる基盤づくりをしていたところでした。

今後は、顧問として、理事長としての経験を生かしていただくことを願っておりました。

残念ながら、その希望は叶いませんでしたが、加藤さんの遺志を引き継いでNPOの更なる発展に努力していきたいと考えています。



## ～仕事と趣味～

千葉県農林水産部耕地課長 杉 森 浩

本年4月から、耕地課長を務めさせていただいております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

ちば水土里支援パートナーの皆様には、日頃から耕地課の業務推進に御理解御協力いただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、私も50代半ばを超え、学生時代の友人も何人か県の課長を務める状況となりました。5月にあった全国耕地関係課長会議では、本音も含めて様々な情報交換がざくばらんにできました。その中で、まじめな話として、農業土木という学科名称が無くなってからの新規採用職員の状況の話がありました。採用は総合土木職で行っている県もあり、本県のように農業土木職で採用を継続している県もありますが、各県とも、いかに早く一人前になってもらうかということで工夫されているようです。

友人共々との共通認識としては、本人が「仕事が面白い」と感じるような適切な指導や支援が一番良い方向性を生むということで、そのためには、やりがいと自信を持って仕事に臨める環境をつくるのが大切で、具体的には

- ・任せる仕事の幅や責任を適切に増やしていく。
- ・上司は任せた仕事の内容を丁寧にチェックする。
- ・内々の仕事だけでなく外に出る仕事も増やし、机上での仕事が外で、どう活かされるのか、扱われるのか、評価されるのか等を実感できるようにする。

など確認しました。

書き出してみますと、30数年間、自分が受けてきた経験に当てはまるものであり、私自身どれだけ組織の期待に応えてこられたか全く自信のないところではありますが、これまで恵まれた環境で仕事ができたと実感する次第です。

組織の環境を整えた上で、職員の育成とともに、組織として「問題を避けない」「一人一人が思考する」といったスタンスで業務にあたっていますので、水土里支援パートナーの諸先輩方にも、見守っていただけますよう、よろしくお願いいたします。

次に、自分の趣味である音楽の世界の話を少し。

音楽界では専門の学校で声楽とかピアノなど専攻分野の先生に師事し、コンクール等で入賞して一流の音楽家になっていくというのが主流なのですが、専門の教育を経ず、独学で一流の音楽家になった2人（故人）を紹介します。

映画音楽「ゴジラ」の作曲で有名な伊福部昭は、北大農学部の林学出身で北海道庁へ勤務の経験もありますが、12歳のころからバイオリンを独学で始め、作曲もほぼ独学で勉強し、門下生に芥川也寸志や黛敏郎といった超有名音楽家もいる日本を代表する作曲家となりました。

また、20世紀後半、実力、人気ともに世界No. 1の指揮者であったカルロス・クライバー（ドイツ生まれ、オーストリア国籍）は、指揮者であった父親が息子が指揮者になることに反対であったため、スイスの連邦工科大学で化学を専攻するも、翌年にはミュンヘンの劇場で無給の見習い指揮者として指揮者の世界に入ります。その後、カラヤン、バーンスタイン、カール・ベームといった巨匠も認める実力指揮者となっていきます。

クライバーの指揮に接すると、どうしてこんなに美しく豊かに、決して大げさでなく

自然に表現できるのだらうと全ての瞬間が感動の連続です。

本人が、仕事が面白いと感じれば、自らどんどん専門知識を吸収していけると思います。農業土木という学科名が消えたとはいえ、たくさんの若い職員が希望をもって、やりがいを感じる職場の環境づくりを、自分たち年代がしっかりやっていかなければならないと痛感する今日此頃です。

最後に、再度になりますが、諸先輩方にも温かい目で見守っていただけますようよろしく願い申し上げます。

### 特定非営利活動法人「ちば水土里支援パートナー」第8回通常総会開催される

第8回通常総会が、平成29年6月8日午後3時から千葉市中央区の「ホテルポートプラザちば」で、会員総数142会員のところ、本人出席69会員、委任状出席45会員の合計114会員出席で開催された。まず、鵜崎副理事長の開会宣言、星川理事長の挨拶のあと、来賓として千葉県農林水産部杉野次長並びに千葉県土地改良事業団体連合会山田副会長から祝辞をいただいた。



理事長挨拶



農林水産部次長挨拶



千葉県土地改良事業団体連合会副会長挨拶



会議風景

その後、議事に入り、議長には司会者より出席者に諮り河野義雄会員が選任された。

また、議事録署名人2名には、宮内清及び藤井慎一の両会員が指名された。

総会に上程された議案としては

議案第1号 平成28年度事業報告並びに収入支出決算について

議案第2号 定款の変更について

- 議案第3号 平成29年度事業計画について
- 議案第4号 平成29年度の会費及び納入方法について
- 議案第5号 平成29年度収入支出予算について
- 議案第6号 平成29年度一時借入金限度額並びに借入方法について
- 議案第7号 平成29年度会費等の積立金並びに余裕金の預入先について

の7議案が上程された。第1号議案から第7号議案までは、事務局からの議案説明のあと質疑応答があり、7議案とも賛成多数で可決された。

その他として、支援業務を円滑に実施するため、特定非営利活動法人ちば水十里支援パートナーにおける個人情報及び特定個人情報の保護に関する規程を設けたことが報告された。

また、4月以降新会員となった個人及び団体会員8名の報告が行われ、そのうち、当日出席した個人会員4名の紹介が行われた。

最後に、鶴岡理事が閉会を宣言し午後4時40分総会を終了した。

総会閉会后、同じ会場内で来賓や会員合わせて50名の出席で、「意見交換会」が和やかな雰囲気のもと開催された。

## 平成29年度第1回理事会(5月11日)開催及び監査の実施について

平成29年度第1回理事会が、5月11日(木)の午後3時から県土連第1会議室で、理事7名、監事3名、事務局員8名の出席で開催された。

議事内容は第8回通常総会に提案する議案の審議で「平成28年度事業報告並びに収入支出決算」「定款の変更」「平成29年度事業計画」「平成29年度収入支出予算」等議案7件について審議され、原案通り理事会で承認されたので総会に諮ることとなった。

なお理事会に先立ち、監事3名により「平成28年度事業報告並びに収支決算」に係る業務の執行状況及び会計処理状況について監査が実施され、「適正である」ことが認められ、理事会の席で椎名弘充監事より報告があった。

## 第7回「ちば水土里支援パートナー賞」が決まる



「美しい農村環境写真コンテスト」は、千葉県内の農村の緑豊かな自然景観や農村生活の様子など「誰もが住んでみたいと思う農村環境」をテーマに、千葉県土地改良事業団体連合会が主催者となり毎年実施しているもので、本年で23回となる。

当法人としては、この「コンテスト」の開催主旨に賛同し、側面から支援することを目的に、平成23年度から「ちば水土里支援パートナー賞」を設け、本年は第7回目となる。

本年度の審査は、応募数166作品(72名)を対象に7月14日(金)、田村民雄特別審査委員(日本写真家協会)、情報誌「水土里ネットちば」編集委員(県耕地課長、農

地・農村振興課長、各農業事務所編集委員、県土連副会長)、当NPO法人星川理事長等25名の審査委員で行われた。

審査の結果、第7回「ちば水土里支援パートナー賞」は田村雅彦さん(酒々井町中央台在住)の「豊作と健康を念じて」(撮影場所:栄町)が選ばれた。

また、同時に「最優秀賞(千葉県知事賞)」等の各賞が決定し、最優秀賞は井上すみ子さんの「雪化粧」(撮影場所:いすみ市)が受賞した。

表彰式は、8月31日(木)、きぼーる13階千葉市ビジネス支援センターで行われ、田村雅彦さんへ星川理事長から賞状と副賞が授与されます。

なお、「豊作と健康を念じて」の作品について田村特別審査委員長から「どんと焼きの一齣ですね。あまりの火の勢が強すぎて、皆さん後ろに退いてしまっています。お祭りの主役は人ですので、弱火になった時が祭りのドラマは生まれ、シャッターチャンスです。」との講評を頂いた。

また、佳作以上の入選作品については、8月30日から9月1日までの3日間、千葉市中央区の「きぼーるアトリウム」に展示されます。

第24回美しい農村環境写真コンテストについての応募要領は、平成29年10月に公表される予定となっています。詳細については千葉県土連管理指導部(043-241-1728)へお問い合わせ下さい。

## 賛助会員特別寄稿(7) 会社紹介

伸光エンジニアリング株式会社 代表取締役 中村泰男

NPO法人「ちば水土里支援パートナー」の会員の皆様には、大変お世話になっております。この度は、会社紹介の機会を頂き有難うございます。

伸光エンジニアリング株式会社は、昭和63年に地質・土質調査を主とし、社会インフラ整備に貢献しようとして創業した会社であります。

弊社の経営理念である「顧客のニーズにマッチした信頼される技術及び成果品を提供することにより、当社の永続的な発展と社会貢献を達成する」を掲げ、全社一丸となり日々努力を続けております。

今後ますます多様化するであろう千葉県農業土木に携わる皆様のニーズに対応するため更なる技術研鑽につとめることは無論のこと、全社員で考え、動き、安心して任せて頂けるコンサルタント会社を目指して参りたいと思っております。

今後ともご指導の程、何卒よろしくお願いいたします。

## NPO法人活動実績(29年4月1日~29年8月8日現在)

月	日	活 動 内 容
4月	1日(土)	第20回千葉の水回廊ウォーク&疎水百選印旛沼ウォーク参加
4月	1日(土)	千葉土地改良協会市原支部事務支援業務の受託契約
4月	1日(土)	千葉土地改良協会千葉支部事務支援業務の受託契約
4月	3日(月)	安房中央ダム定期点検業務の受託契約
4月	13日(木)	千葉土地改良協会市原支部役員会出席(市原市)
4月	13日(木)	平成29年度法人市民税減免申請手続き(千葉市役所)

4月21日(金)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
4月28日(金)	千葉土地改良協会千葉支部役員会出席(千葉市)
5月11日(木)	平成29年度第1回理事会及び監査(土地改良会館)
5月12日(金)	平成29年度千葉土地改良協会全体会議出席(市原市)
5月19日(金)	平成29年度千葉土地改良協会市原支部総会出席(市原市)
5月19日(金)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
5月25日(木)	平成29年度千葉土地改良協会千葉支部総会出席(千葉市)
6月8日(木)	第8回通常総会(ポートプラザちば)
6月15日(木)	法人市民税減免申請添付書類提出(千葉市役所)
6月15日(木)	平成28年度事業報告書提出(千葉市役所)
6月17日(土)	耕友会通常総会開催支援(千葉市)
6月20日(火)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
7月6日(木)	定款変更認証申請書提出(千葉市役所)
7月7日(金)	千葉土地改良協会市原支部第2回役員会出席(市原市)
7月14日(金)	写真コンテスト審査会(土地改良会館)
7月20日(木)	安房中央ダム堤体観測支援業務(南房総市)
8月2日(水)	千葉土地改良協会市原支部研修会講師派遣依頼(さいたま市)
8月4日(金)	千葉土地改良協会市原支部国会視察研修会出席(東京)
8月8日(火)	会報(第19号)発行

## 新入会員の紹介

当法人に新たに次の個人及び団体会員が入会しましたので紹介いたします。

- ・個人会員 清水信幸(千葉) 鳥越章(印旛) 伊藤秀光(海匝)  
伊藤守久(山武) 綱康次郎(長生) 松田晴夫(君津)  
高野司(君津)
- ・団体会員 白井市白井土地改良区

## <編集後記>

今年の梅雨は、西日本では集中豪雨、東日本は空梅雨模様の気象が続いておりましたが、東日本でも7月中旬以降では梅雨前線の停滞で東北地方においても集中豪雨が発生し、各地で大きな被害が発生しました。被災された皆様にはお見舞いを申し上げますとともに、早期に復旧されることをお祈りいたします。

法人として8年目を迎えました。会員各位からの情報や意見が反映された会報にすべく努力したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。(H、T、K、S、K)

**ちば水土里支援広報** 第19号 (発行日 平成29年8月8日)

発行：特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー(発行責任者：星川正晴)

会員：正会員 121名・21団体 賛助会員 13団体

事務局：〒261-0002 千葉市美浜区新港249番地8 千葉県土地改良会館別館

Tel 043-441-8589 (電話専用) 043-241-1755 Fax 043-241-1755

銀行口座番号：千葉銀行本店営業部 3908901 特定非営利活動法人ちば水土里支援パートナー  
理事長 星川正晴